

第 8 期行田市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に係る実施内容及び評価シート

		重点事業 N o 1		
		通いの場の拡充		
計 画	計画目標値	週 1 回以上活動の「通いの場」を 3 年間で 120 か所設置		
	目標値	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
		40 か所	40 か所	40 か所
P	令和 3 年度の 行動目標	<ul style="list-style-type: none"> ・市で週 1 回以上の通いの場の設置促進 ・週 1 回以上活動の各分野（文化・スポーツ・ボランティアなど）の情報集約と周知を実施。活動希望者と団体とを結びつけ、住民、支援者にとっての新たな通いの場を創出。 ・通いの場として認識できたものを「見える化」し、周知していく。 		
実 施 D	令和 3 年度 実施内容・実績	実施内容		実績
		楽々グラウンドゴルフ事業の開始（R3.10～週1回）		2 か所設置
		ご近所型介護予防事業の開始（R3.11～週1回）		2 か所設置
		社会福祉協議会、生涯学習スポーツ課、中央公民館などへ各種活動団体の情報確認と集約（スポーツ、文化活動サークル、ボランティアサークルなど）		集約中
		週1回活動している通いの場一覧表の作成		作成中
	包括・ケアマネジャーなどへ一覧表の提供		進行中	
令和 3 年度 実績値 自己評価・達成状況	実績値		自己評価・達成状況 A 順調 B 概ね順調 C 遅延	
	4 か所		C 遅延	
評 価 C	令和 3 年度の 課題・問題点及び 対応方法（案）	<ul style="list-style-type: none"> ・楽々グラウンドゴルフやご近所型介護予防事業などの通いの場の創設が新型コロナウイルスの影響で当初目標より遅延。順次拡充できるよう、リハビリ専門職や関係団体との調整の継続とモデル事業の検証等を進める。 ・通いの場一覧表が作成途中。関係機関・団体の情報確認、一覧表の作成を早急に実施し、関係者への周知を年度内に実施。 		
	関係機関等の意見	意見聴取先： 意見： 意見聴取先 意見：		
改 善 A	関係機関等の 意見を踏まえた 令和 4 年度の 活動方針	<ul style="list-style-type: none"> ・楽々グラウンドゴルフ事業の拡充（5 か所） ・ご近所型介護予防事業の拡充（20 か所） ・関係者への通いの場一覧表を介護関係機関以外に周知（民生委員・自治会・公民館等） ・一覧表を作成し、多岐に渡る週 1 回の活動の場を関係機関に提供。本人の興味、関心と活動団体とを結びつけ、介護保険の卒業の受け皿、介護予防の場の創出を図ると共に地域活動の活性化に繋げる。 		

第8期行田市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に係る実施内容及び評価シート

		重点事業N○2		
		ご近所型介護予防事業の推進		
計 画	計画目標値	3年間で参加実人数 600人		
	目標値	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		100人	200人	300人
P	令和3年度の行動目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ご近所型介護予防事業のモデル事業の実施 ・モデル事業実施後に課題や効果検証等を実施した後、市内全域に拡充 ・市内拡充に向け、各団体へ説明実施 ・指導者養成講座の開催 		
実 施 D	令和3年度 実施内容・実績	実施内容		実績
		POST 行田会（リハビリ専門職団体）と内容調整		2回
		包括管理者会議で事業説明		2回
		包括に実施団体の掘り起こしを要請		4回
		包括保健師部会で推進方法の検討		3回
		POST 行田会・包括・市で関係者会議の実施		2回
		モデル団体候補者等と打合せ		5回
		民生委員会議において事業説明		5回
		2団体をモデル指定し開始		2団体
		サロン代表者会議、シニアクラブ事業等で説明		(R4.1頃)
		実施内容、効果の検証		(R4.2~3)
市内全域に拡大・指導者養成講座の開催		来年度予定		
令 和 3 年 度 実 績 値 自 己 評 価 ・ 達 成 状 況	実績値	自己評価・達成状況 A 順調 B 概ね順調 C 遅延		
	31人	B 概ね順調		
評 価 C	令和3年度の課題・問題点及び対応方法（案）	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の状況により開始時期が遅延。 ・リハビリ専門職の確保が困難（専門職の通常業務と地域活動の両立の困難さ、コロナ禍における活動制限等）であり、団体と調整し今年度の実施を2か所に設定。団体と継続的な調整を行い、派遣できる体制を構築させていく。 ・専門職の派遣指導終了後の継続的な実施に向けて指導者養成が必要。 ・モデル団体実施後の事業の周知と拡充に向けた事業検証・周知検討が必要。 		
	関係機関等の意見	意見聴取先： 意見： 意見聴取先： 意見：		
改 善 A	関係機関等の意見を踏まえた令和4年度の活動方針	<ul style="list-style-type: none"> ・モデル団体の課題・効果検証 ・効果等を踏まえた周知チラシの作成や市報・広報誌での周知 ・本事業を実施する団体、地域の募集 ・民生委員、老人クラブ、サロン、自治会等へ周知継続 ・スポーツ・文化活動サークル、ボランティア団体、公民館サークルなどへ周知 ・指導者養成講座の実施 ・介護予防講演会等を実施し、周知 		

第8期行田市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に係る実施内容及び評価シート

		重点事業No.3		
		認知症ボランティアの養成と活動推進		
計画	計画目標値	3年間で実活動人数 200人		
	目標値	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		40人	60人	100人
P	令和3年度の行動目標	<ul style="list-style-type: none"> 認知症に関するボランティアの募集、養成 ボランティア希望者と活動とのマッチング ボランティアの活動場所を含めた認知症施策の推進に向けた認知症地域支援推進員の拡充 		
実施	令和3年度 実施内容・実績	実施内容		実績
		認知症サポーター養成講座受講者にボランティア希望確認のアンケートを実施（今年度9人活動希望あり）		9回 計42人希望
		認知症地域支援推進員を全包括に配置		5包括7人
		推進員会議で活用方法の検討実施（認知症カフェ、徘徊模擬訓練、相談会等）		2回
		認知症カフェ事業者と意見交換会等を実施し、ボランティア希望者名簿の提供と活用を依頼		R4.2月頃 実施予定
		徘徊模擬訓練を開催し、ボランティア希望者の活用		R4.2月～3月 頃開催予定
D	令和3年度 実績値	実績値	自己評価・達成状況 A 順調 B 概ね順調 C 遅延	
	自己評価・達成状況	0人	C 遅延	
評価	令和3年度の課題・問題点及び対応方法（案）	<ul style="list-style-type: none"> 活動の場である認知症カフェの開催中止、受入れの中止があったほか、ボランティア希望者の活動内容と認知症カフェ事業所のボランティアニーズの相違があり、活動に結びついていない。そのため、受入れ事業者と意見交換を行うなどニーズ把握に努める。 活動の場の不足があるため、認知症地域支援推進員会議などで検討し、徘徊模擬訓練や相談会手伝いなど活動場所の創出を行っていく。 アンケート記載時にボランティア登録の呼びかけが徹底できていないため、講師に継続的に依頼を行っていく。 		
	C 関係機関等の意見	意見聴取先： 意見： 意見聴取先： 意見：		
改善	関係機関等の意見を踏まえた令和4年度の活動方針	<ul style="list-style-type: none"> 認知症地域支援推進員会議で活動場所・掘り起こし方法等の検討継続 徘徊模擬訓練、認知症相談会を開催し活動を推進 認知症サポーター養成講座でボランティア登録のよびかけの継続 認知症カフェ事業者意見交換会にボランティア希望者も参加いただきマッチング チームオレンジに向けたステップアップ講座の開催 		
A				

第 8 期行田市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に係る実施内容及び評価シート

		重点事業 No. 4		
		介護人材の確保		
計 画 P	計画目標値	3 年間で介護事業所等への採用者 30 人		
	目標値	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
		10 人	10 人	10 人
令和 3 年度の 行動目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 近隣の高校等への訪問による介護の魅力の PR 等 ・ ハローワークとの共催による介護就職デイ面接会の開催 ・ 介護の入門的研修の開催及び研修修了者と事業所等とのマッチングの実施 			
実 施 D	令和 3 年度 実施内容・実績	実施内容		実績
		高校への訪問による介護の魅力の PR		誠和福祉高校
		ハローワークとの共催による介護就職デイ面接会の開催		R3. 11. 15 開催
		介護の入門的研修の開催及び研修修了者と事業所等とのマ ッチングの実施		R4. 1 実施予定
	埼玉県等の介護人材の確保に関する事業等の PR 活動 (チラシによる周知、ポスター掲示、市報への掲載ほか)		随時	
令和 3 年度 実績値 自己評価・達成状況	実績値		自己評価・達成状況 A 順調 B 概ね順調 C 遅延	
	【介護就職デイ】 求職者 34 名 延面接回数 37 回		B 概ね順調	
評 価 C	令和 3 年度の 課題・問題点及び 対応方法(案)	<p>【高校への訪問】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市の訪問意図があまり理解されていないようであったため、事業所と合同での訪問を検討するなど、事業の実施方法等の見直しが必要 <p>【介護就職デイ面接会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 求職者の面接について、待ち時間が長くそのまま帰宅した求職者もいたため、面接希望者が多い事業所については、ブースを増やすなどの効率的な面接の実施に向けた見直しが必要 		
	関係機関等の意見	<p>意見聴取先： 意見：</p> <hr/> <p>意見聴取先 意見：</p>		
改 善 A	関係機関等の 意見を踏まえた 令和 4 年度の 活動方針	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高校等への訪問については、訪問方法の見直しを検討のうえ実施。 ・ 介護就職デイ面接会の継続的開催及び効率的な面接の実施 ・ 介護の入門的研修の開催及び研修修了者と事業所等とのマッチングの実施 		